

法政大学大学院  
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	政治学研究科 政治学専攻 博士後期課程生《一般》	2026年度 春季
外国語 (英語)		

《解答又は解答例》

問1 2020年のアメリカ大統領選挙

問2 Such dangers to democratic procedures are not limited to American politics.

問3 民主主義に対する対内的・対外的危機ゆえに、民主主義とは何か、どこからやってきたのかを体系的に考えることが、民主主義を守るためにも急務である。哲学のおよび歴史的な観点から、そのように考えるのが本書の目的である。民主主義とは何か。こんにち民主主義が意味することは、古代世界や18世紀において意味したものは異なる。

問4 本書『民主主義への簡易入門』において、私は民主主義における異なった事例と言葉の使用法を考慮して、哲学的な区別を記述することから始めたい。それは、民主主義における《観念》と《具体事例》の区別である。

問5 哲学者として、ほとんど全員が《把握》できるような《観念》であると、私は民主主義を見なしたい。観念とは、あることばが共有された意味をもつという理念である。広く共有されうるゆえに、民主主義の観念は抽象的で普遍的である。抽象的ゆえに、観念は現実のなにがしかを指し示すわけではない。それは思考なのである。普遍的ゆえに、民主主義の観念はあいまいでもあるが、その観念を——世界の状況を記述しようとするような方法で——特定する具体的な事例すべてに言及しうる。また、民主主義という観念は、その具体事例すべてにも言及しうるのである。民主主義の具体事例は、抽象的・普遍的な観念に比べて、もっと個別性がある。例えば、民主主義という観念とは、「統治されている人びとが、統治する政府に何らかの発言権がある」ことを——漠然とだが一般的に——示す、と言いうるだろう。

問6 But this is still not a fully adequate definition because a vague concept cannot be defined.

問7 The democratic traits 主部

already mentioned 前の形容詞+名詞にかかる

and others 主部の続き

that are associated with the concept of democracy 前の名詞にかかる

have been and can continue to be 主たる2つの動詞(受動態)

combined, fleshed out, and applied, 3つに並列された動詞の続き

according to different *conceptions* of democracy. 形容詞句、動詞にかかる

問8 民主主義の危機的状況に際して、民主主義という言葉が持つ観念(抽象的)と事例(具体的)を区

法政大学大学院  
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	政治学研究科 政治学専攻 博士後期課程生《一般》	2026年度 春季
外国語 (英語)		

別する方法によって、この概念を哲学的・歴史的に体系だって考察したい。(78字)

《出題の意図》

博士後期課程に必要な素養(基礎的な外国語能力、基礎的な政治学の概念)を測るために、入門書で著名なシリーズ『民主主義』の冒頭部分を抜粋した。ある程度、まとまった英文を限られた時間内で正確に読み解く能力も測ることになる。なお、AI翻訳が全盛になる時代に、自らの外国語運用能力を測るための工夫も出題意図にある。

- 問1 代名詞の指す内容や **SVOO** の構文を正しく捉えているかどうかを測る。
- 問2 否定語の有無で文意が正反対になるため、文章を精密に、注意深く、論理を追って読めるかどうかを測る。
- 問3 イタリックになった強調語を含め、ある程度の分量の英文を、平易で文意が通る日本語に直せるかどうかを測る。
- 問4 この文章の肝である **concept** と **conceptions** の差を重要な語として見抜いたうえで、それらを適切な日本語に直せるかどうかを測る。
- 問5 ある程度の分量の英文を、平易で文意が通る日本語に直せるかどうかを測る。
- 問6 否定語の有無で文意が正反対になるため、文章を精密に、注意深く、論理を追って読めるかどうかを測る。
- 問7 AI翻訳に全面依存しないために、英文の基本的構造や文法概念を理解しているかどうかを測る。
- 問8 文章全体を概読および精読したうえで、簡潔で適切な日本語として要旨を作成できるかどうかを測る。

法政大学大学院  
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	政治学研究科 政治学専攻 博士後期課程生《一般》	2026年度 春季
外国語 (日本語)		

《解答又は解答例》

論文形式の設題であるため具体的な解答例を示すことはできない。解答にあたっては、以下の点を意識して論述してほしい。

1950年代を高度経済成長への準備が始まる時代と認識して問題に掲げた語句を使いながら、政治、社会の変遷を論ずる。さらに問題に掲げた語句を使いながら、1960年代の高度経済成長期における政治、社会の変遷を論ずる。

《出題の意図》

1950年代から1960年代にかけて、高度経済成長を遂げていく日本の政治、社会の変遷をどのように捉えていくか。